

日商簿記 1 級 (第149回) 解答速報

商業簿記

連結貸借対照表

20X5年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		
流動資産		
現金預金	28,500	
受取手形	(27,200)	
売掛金	(46,500)	
棚卸資産	(31,100)	
営業外受取手形	(4,000)	(137,300)
固定資産		
有形固定資産	(131,100)	
(のれん)	(8,880)	
其他有価証券	(27,000)	(166,980)
資産合計		<u>(304,280)</u>
負 債 の 部		
流動負債		
支払手形	(14,200)	
買掛金	(24,100)	
短期借入金	(11,000)	(49,300)
固定負債		
長期借入金	(49,000)	(49,000)
負債合計		<u>(98,300)</u>
純 資 産 の 部		
株主資本		
資本金	(100,000)	
資本剰余金	(16,400)	
利益剰余金	(63,500)	
その他の包括利益累計額	(4,200)	
(非支配株主持分)	(21,880)	(21,880)
純資産合計		<u>(205,980)</u>
負債・純資産合計		<u>(304,280)</u>

連結損益計算書

自20X4年4月1日至20X5年3月31日

(単位：千円)

売上高	(70,000)
売上原価	(49,550)
売上総利益	(20,450)
販売費及び一般管理費	
販売費	5,000
一般管理費	(5,400)
(のれん償却額)	(1,480)
営業利益	(8,570)
営業外収益	(2,200)
営業外費用	(4,000)
税金等調整前当期純利益	(6,770)
法人税・住民税・事業税	3,200
当期純利益	(3,570)
非支配株主に帰属する当期純利益	(380)
親会社株主に帰属する当期純利益	<u>(3,190)</u>

連結包括利益計算書

自20X4年4月1日至20X5年3月31日

(単位：千円)

当期純利益	(3,570)
その他の包括利益	(3,500)
包括利益	(7,070)
親会社株主に係る包括利益	(6,390)
非支配株主に係る包括利益	(680)

連結株主資本等変動計算書

自20X4年4月1日至20X5年3月31日

(単位：千円)

利益剰余金当期首残	(62,310)
親会社株主に帰属する当期純利益	(3,190)
配当金	(2,000)
利益剰余金当期末残高	<u>(63,500)</u>

日商簿記1級（第149回） 解答速報

会計学

第1問

(イ)	独立処理	(ロ)	区分法
(ハ)	評価・換算差額等	(ニ)	トレーディング
(ホ)	見積現金購入価額		

第2問

問 次の各項目の金額を求めなさい。

- ① 退職給付費用 ② 退職給付引当金 ③ 法人税等調整額
④ 連結貸借対照表における退職給付に係る負債
⑤ 連結包括利益計算書における退職給付に係る調整額（税効果の金額控除後）

①	3,500 千円	②	13,600 千円	③	330 千円
④	14,580 千円	⑤	686 千円		

第3問

問1 合併直前の甲社の諸資産の帳簿価額を求めなさい。

1,000,000 千円

問2 合併時に事業Bに配分されるのれんの金額を求めなさい。

45,000 千円

問3 20X8年3月31日の決算にあたってのれん配分前の事業Aを構成する資産から生じる減損損失を求めなさい。

10,250 千円

問4 20X8年3月31日の決算にあたってのれんを含むより大きな単位で事業Aに生じる減損損失を求めなさい。

46,750 千円

問5 20X8年3月31日における減損損失控除後ののれんの帳簿価額を求めなさい。

11,000 千円

第149回 商業簿記 解説

1. タイムテーブル

(単位：千円)

	+60%		+20%		80%
	×1.3/31	X1~X3年度	×4.3/31	X4年度	×5.3/31
資本金	50,000		50,000		50,000
資本剰余金	10,000		10,000	S利 +2,800 S配 Δ1,000	10,000
利益剰余金	30,000	+15,000	45,000		46,800
有証評差	—		0	1,050 × 0.6 →	1,500
評価差額	2,000		2,000		2,000
合計	92,000		107,000		110,300
P社持分	55,200	← ×60%	21,400	← ×20%	
S社株式	70,000	資本剰余金Δ3,600	25,000		
のれん	14,800	償却 Δ1,480 × 3	10,360	償却 Δ1,480	8,880

2. 個別修正（土地の評価差額）

土地	2,000	評価差額	2,000
----	-------	------	-------

3. 開始仕訳

(1) 投資と資本の相殺消去（支配獲得時）

資本金	50,000	S社株式	70,000
資本剰余金 -首-	10,000	非支配株主持分 -首-	※2 36,800
利益剰余金 -首-	30,000		
評価差額	2,000		
のれん	※1 14,800		

※1 S社株式 70,000 - P社持分 92,000 × 60% = 14,800

※2 非支配株主持分 92,000 × 40% = 36,800

(2) のれんの償却

利益剰余金 -首-	※1 4,440	のれん	4,440
-----------	----------	-----	-------

※1 のれん 14,800 ÷ 10年 × 3年 (×1.4/31~×4.3/31) = 4,440

(3) 増加利益剰余金の非支配株主への振替え

利益剰余金 -首-	※1 6,000	非支配株主持分 -首-	6,000
-----------	----------	-------------	-------

※1 増加利益剰余金 15,000 (×1.4/31~×4.3/31) × 40% = 6,000

(4) 20%追加取得に係る修正

非支配株主持分 -首-	※1 21,400	S社株式	25,000
資本剰余金 -首-	※2 3,600		

※1 107,000 × 20% = 21,400

※2 貸借差額

4. 当期の修正仕訳

(1) のれんの償却

のれん償却額	※1	1,480	のれん	1,480
--------	----	-------	-----	-------

※1 のれん $14,800 \div 10年 = 1,480$

(2) 当期純利益の非支配株主持分への振替え

非支配株主に帰属する当期純利益	※1	560	非支配株主持分 -当変-	560
-----------------	----	-----	--------------	-----

※1 S社当期純利益 $2,800 \times 20\% = 560$

(3) 配当金の修正

受取配当金	※1	800	利益剰余金 -S/S配当-	1,000
非支配株主持分 -当変-	※2	200		

※1 受取配当 $1,000 \times 80\% = 800$

※2 受取配当 $1,000 \times 20\% = 200$

(4) 売上高と売上原価の相殺

売上高	10,000	売上原価	10,000
-----	--------	------	--------

(5) 債権債務の相殺

買掛金	1,500	売掛金	1,500
支払手形	2,800	受取手形	2,800

営業外支払手形	3,000	短期借入金	1,000
		営業外受取手形	2,000

(6) 未達商品 (S社への売上高 10,000千円とP社からの仕入高 9,600千円との差額)

商品	400	買掛金	400
----	-----	-----	-----

(7) 商品に係る未実現利益の調整 (ダウン・ストリーム)

利益剰余金 -首-	※1	250	商品	250
-----------	----	-----	----	-----

※1 $1,000 \times 25\% = 250$

商品	250	売上原価	250
----	-----	------	-----

売上原価	※1	300	商品	300
------	----	-----	----	-----

※1 $(800 + 未達400) \times 25\% = 300$

(8) 備品に係る未実現利益の調整 (アップ・ストリーム)

備品売却益	1,000	備品	1,000
非支配株主持分 ※1	200	非支配株主に帰属する当期純利益 ※1	200

※1 $1,000 \times 20\% = 200$

備品 ※2	100	減価償却費	100
非支配株主に帰属する当期純利益 ※3	20	非支配株主持分 -当変-	20

※2 $1,000 \div 5年 \times 6/12 = 100$

※3 $100 \times 20\% = 20$

(9) その他有価証券評価差額金の増加額の非支配株主持分への振替え

その他有価証券評価差額金-当変- ※1	300	非支配株主持分 -当変-	300
---------------------	-----	--------------	-----

※1 $1,500 \times 20\% = 300$

連結P/Lの作成

	P社P/L	S社P/L	合算P/L	連結修正	連結P/L
売上高	50,000	30,000	80,000	△10,000	70,000
売上原価	37,500	22,000	59,500	△9,950	49,550
販売費及び一般管理費	6,000	4,500	10,500	△100	10,400
のれん償却	—	—	—	1,480	1,480
営業外収益	2,000	1,000	3,000	△800	2,200
営業外費用	2,500	1,500	4,000		4,000
特別利益	—	1,000	1,000	△1,000	0
法人税・住民税等	2,000	1,200	3,200		3,200
税引後当期純利益	4,000	2,800	6,800		3,570
非支配株主持分帰属損益	—	—	—	560, △200, 20	380
当期純利益	4,000	2,800	6,800	△3,610	3,190

連結S/Sの作成

	P社S/S	S社S/S	合算S/S	連結修正	連結S/S
資本金期首残高	100,000	50,000	150,000	△50,000	100,000
当期変動額	—	—	—	—	—
資本金期末残高	100,000	50,000	150,000	△50,000	100,000

	P社S/S	S社S/S	合算S/S	連結修正	連結S/S
資本剰余金期首残高	20,000	10,000	30,000	△13,600	16,400
当期変動額	—	—	—	—	—
資本剰余金期末残高	20,000	10,000	30,000	△13,600	16,400

	P社S/S	S社S/S	合算S/S	連結修正	連結S/S
利益剰余金期首残高	58,000	45,000	103,000	△40,690	62,310
当期純利益	4,000	2,800	6,800	△3,610	3,190
配当金	2,000	1,000	3,000	△1,000	2,000
利益剰余金期末残高	60,000	46,800	106,800	△43,300	63,500

	P社S/S	S社S/S	合算S/S	連結修正	連結S/S
その他有価証券評価差額期首残高	3,000	1,500	4,500	—	4,500
当期変動額	—	—	—	△ 300	△ 300
その他有価証券評価差額期首残高	3,000	1,500	4,500	△ 300	4,200

	P社S/S	S社S/S	合算S/S	連結修正	連結S/S
非支配株主持分期首残高	—	—	—	21,400	21,400
当期変動額	—	—	—	480	480
非支配株主持分期末残高	—	—	—	21,880	21,880

連結包括利益計算書

	包括利益	(非支配株主)	(親会社株主)
当期純利益	3,570	380	3,190
その他有価証券評価差額金	3,500	※1 300	※2 3,200
包括利益	7,070	680	6,390

※1 (7,000－5,500) × 20% = 300

※2 (20,000－18,000) + (7,000－5,500) × 80% = 3,200

連結B/Sの作成

	P社B/S	S社B/S	合算B/S	連結修正	連結B/S
現金及び預金	10,000	18,500	28,500		28,500
受取手形	20,000	10,000	30,000	△ 2,800	27,200
売掛金	30,000	18,000	48,000	△ 1,500	46,500
商品	19,000	12,000	31,000	100	31,100
営業外受取手形	—	6,000	6,000	△ 2,000	4,000
有形固定資産	70,000	60,000	130,000	1,100	131,100
のれん	—	—	—	8,880	8,880
S社株式	95,000	—	95,000	△ 95,000	0
その他有価証券	20,000	7,000	27,000		27,000
資産合計	264,000	131,500	395,500	△ 91,220	304,280
支払手形	13,000	4,000	17,000	△ 2,800	14,200
買掛金	20,000	5,200	25,200	△ 1,100	24,100
営業外支払手形	3,000	—	3,000	△ 3,000	0
短期借入金	5,000	5,000	10,000	1,000	11,000
長期借入金	40,000	9,000	49,000		49,000
資本金	100,000	50,000	150,000	連結S/S →	100,000
資本剰余金	20,000	10,000	30,000	〃 →	16,400
利益剰余金	60,000	46,800	106,800	〃 →	63,500
その他包括利益累計額	3,000	1,500	4,500	〃 →	4,200
評価差額	—	—	—	〃 →	—
非支配株主持分	—	—	—	〃 →	21,880
負債及び純資産合計	76,360	131,500	395,500	△ 91,220	304,280

第149回 会計学 解説

第1問

- (1) 為替予約が付された外貨建取引であっても、外貨建取引と為替予約とを別々の取引とみなし、それぞれについて会計処理を行うのが原則である。この処理を(イ **独立処理**)という。
- (2) 転換社債型新株予約権付社債以外の新株予約権付社債の発行にともなう払込金額は、社債の対価部分と新株予約権部分に分けて処理を行う。この処理方法を(ロ **区分法**)という。
- (3) その他有価証券については時価をもって貸借対照表価額とし、その評価差額は洗い替え方式によって純資産の部にその他有価証券評価差額金として計上する。ただし、当該評価差額は、連結貸借対照表では純資産の部のその他の包括利益累計額の区分に計上されるのに対して、個別貸借対照表では(ハ **評価・換算差額等**)の区分に計上される。
- (4) 当初から販売の努力を行う意図をもたずに、短期間の価格変動により利益を得ることを目的として保有する棚卸資産を(ニ **トレーディング**)目的で保有する棚卸資産といい、こうした棚卸資産については市場価格にもとづく価額をもって貸借対照表価額とし、帳 価額との差額は当期の損益として処理する。
- (5) ファイナンス・リース取引の借手の会計処理においては、リース物件の貸手の購入価額等が明らかでない場合、リース料総額の割引現在価値と(ホ **見積現金購入価額**)とのいずれか低い方の額で、リース物件とこれに係る債務をリース資産およびリース債務として計上しなければならない。

第2問

数理計算上の差異は、資料7に与えられているので自ら計算する必要はありませんが、下記勘定から算定し、検算することが可能です。その方が安心して解き進めていけるとと思います。連結包括利益計算書における退職給付に係る調整額を税引後で求める必要があることを失念しなければ、満点が狙えたと思います。

(単位：千円)

退職給付に係る負債																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">年金資産（首）</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">22,000</td> </tr> <tr> <td>期待運用収益</td> <td style="text-align: right;">22,000×3%</td> </tr> <tr> <td>掛金拠出</td> <td style="text-align: right;">2,400</td> </tr> <tr> <td>年金からの支給</td> <td style="text-align: right;">△1,200</td> </tr> <tr> <td>数理計算上の差異</td> <td style="text-align: right;">△360</td> </tr> <tr> <td>→ 当期費用処理</td> <td style="text-align: right;">△24</td> </tr> <tr> <td>未認識差異</td> <td style="text-align: right;">△336</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid black;">退職給付に係る負債</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">14,580</td> </tr> </table>	年金資産（首）	22,000	期待運用収益	22,000×3%	掛金拠出	2,400	年金からの支給	△1,200	数理計算上の差異	△360	→ 当期費用処理	△24	未認識差異	△336	退職給付に係る負債			14,580	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">退職給付債務（首）</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">34,500</td> </tr> <tr> <td>期首</td> <td style="text-align: right;">12,500</td> </tr> <tr> <td>勤務費用</td> <td style="text-align: right;">3,400</td> </tr> <tr> <td>利息費用</td> <td style="text-align: right;">34,500×2%</td> </tr> <tr> <td>年金からの支給</td> <td style="text-align: right;">△1,200</td> </tr> <tr> <td>数理計算上の差異</td> <td style="text-align: right;">+690</td> </tr> <tr> <td>→ 当期費用処理</td> <td style="text-align: right;">+46</td> </tr> <tr> <td>未認識差異</td> <td style="text-align: right;">+644</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid black;">退職給付に係る負債</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">37,390</td> </tr> </table>	退職給付債務（首）	34,500	期首	12,500	勤務費用	3,400	利息費用	34,500×2%	年金からの支給	△1,200	数理計算上の差異	+690	→ 当期費用処理	+46	未認識差異	+644	退職給付に係る負債			37,390
年金資産（首）	22,000																																						
期待運用収益	22,000×3%																																						
掛金拠出	2,400																																						
年金からの支給	△1,200																																						
数理計算上の差異	△360																																						
→ 当期費用処理	△24																																						
未認識差異	△336																																						
退職給付に係る負債																																							
	14,580																																						
退職給付債務（首）	34,500																																						
期首	12,500																																						
勤務費用	3,400																																						
利息費用	34,500×2%																																						
年金からの支給	△1,200																																						
数理計算上の差異	+690																																						
→ 当期費用処理	+46																																						
未認識差異	+644																																						
退職給付に係る負債																																							
	37,390																																						
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">23,860</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">37,390</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> </div>																																						
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">23,500</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">38,080</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> </div>																																						

- ① 退職給付費用 3,500 = 勤務費用 3,400 + 利息費用 34,500×2% - 期待運用収益 22,000×3% + 当期費用処理 +46 - △24
- ② 退職給付引当金 13,600 = 退職給付に係る負債 14,580 - (未認識差異 644 + 336)
- ③ 法人税等調整額 330 = (期首引当金 12,500 - 期末引当金 13,600) × 実効税率 30%
- ④ 連結貸借対照表における退職給付に係る負債 14,580
- ⑤ 連結包括利益計算書における退職給付に係る調整額 686 = (未認識差異 644 + 336) × 70%

第3問

問5まで求めようとする、事業Bの減損処理も必要となり手数が必要ですが、全体として容易な問題でした。のれんを含むより大きな単位の将来キャッシュフローや回収可能価額が与えられていないため、構成資産の将来キャッシュフローや回収可能価額を合算して代用することになります、これで良いのか躊躇して時間をとられないようにしたいところです。

(単位：千円)

問1 合併直前の甲社の諸資産の帳簿価額

$$1,000,000 = \text{甲社合併直後諸資産 } 1,480,000 - \text{合併前乙社諸資産時価 } 480,000$$

問2～5

(1) のれんの分割

$$\text{事業A } 135,000 = \text{のれん } 180,000 \times \text{事業価値 } 390,000/520,000$$

$$\therefore 20X8.3.31. \text{のれん帳簿価額 } 40,500 = 135,000 \times 3\text{年}/10\text{年}$$

$$\text{事業B } 45,000 = \text{のれん } 180,000 \times \text{事業価値 } 130,000/520,000$$

$$\therefore 20X8.3.31. \text{のれん帳簿価額 } 13,500 = 45,000 \times 3\text{年}/10\text{年}$$

(2) 減損処理

<事業A>

① のれん配分前

$$\text{資産a1 合併直前時価 } 240,000 \times 3\text{年}/10\text{年} = \text{帳簿価額 } 72,000 < \text{将来CF } 79,000$$

$$\text{資産a2 合併直前時価 } 120,000 \times 3\text{年}/10\text{年} = \text{帳簿価額 } 36,000 > \text{将来CF } 30,000$$

$$\therefore \text{減損損失 } 10,250 = \text{資産a2 帳簿価額 } 36,000 - \text{回収可能価額 } 25,750$$

② より大きな単位

$$\text{帳簿価額 } 148,500 = \text{資産a1 } 72,000 + \text{資産a2 } 36,000 + \text{のれん } 40,500$$

$$\text{将来CF } 108,000 = 79,000 + 30,000$$

$$\text{帳簿価額 } 148,500 > \text{将来CF } 108,000$$

$$\therefore \text{減損損失 } 46,750 = \text{帳簿価額 } 148,500 - (\text{回収可能価額 } 76,000 + 25,750)$$

$$\rightarrow \text{減損損失増加額(のれんから優先的に控除)} 36,500 = 46,750 - 10,250$$

<事業B>

① のれん配分前

$$\text{資産b1 合併直前時価 } 80,000 \times 3\text{年}/10\text{年} = \text{帳簿価額 } 24,000 < \text{将来CF } 28,000$$

$$\text{資産b2 合併直前時価 } 40,000 \times 3\text{年}/10\text{年} = \text{帳簿価額 } 12,000 < \text{将来CF } 17,000$$

② より大きな単位

$$\text{帳簿価額 } 49,500 = \text{資産b1 } 24,000 + \text{資産b2 } 12,000 + \text{のれん } 13,500$$

$$\text{将来CF } 45,000 = 28,000 + 17,000$$

$$\text{帳簿価額 } 49,500 > \text{将来CF } 45,000$$

$$\therefore \text{減損損失 } 6,500 = \text{帳簿価額 } 49,500 - (\text{回収可能価額 } 27,000 + 16,000)$$

$$\rightarrow \text{減損損失増加額(のれんから優先的に控除)} 6,500 = 6,500 - 0$$

(3) のれん帳簿価額

$$\text{のれん帳簿価額 } 11,000 = \text{事業A } 40,500 + \text{事業B } 13,500 - (\text{減損損失 } 36,500 + 6,500)$$